



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長:岡 光正 / 副会長:芥川 圭一郎 / 幹事:馬渡 圭一



2025~2026年度クラブスローガン

例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会:委員長 / 橋口 佳周 副委員長 / 倉科 聰一郎

委員 / 西村 浩輝、四元 清安、崎山 信幸、田中 啓輔、澤田 磨

本日の出席率80%:会員数55名・出席29名・欠席10名・出席規定免除会員11名・ビジター1名
前々回の修正出席率83.33%:出席29名・メークアップ0名



会長挨拶 / 岡 光正君



皆さんこんにちは。改めまして本日は、当クラブの名誉会員でもあり、佐世保市長宮島大典様、福岡西RC富永雅也様に起こし頂きました。大変お忙し中、誠に有難うございます。

先週2日の石坂ガバナー公式訪問例会では、石坂ガ

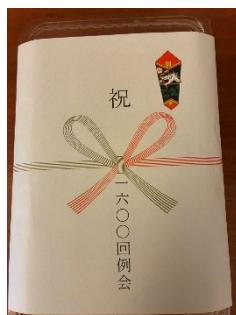
バナー並びに中島地区幹事より、中央クラブに対し高い評価を頂きました。これも偏に、前田ガバナー補佐始め皆様方のクラブに対する熱い想いと、ご協力によるものだと思います。有難うございました。6日月曜日は、第2回目の指名委員会を開催しました。2026-27年度の役員理事候補者の協議を行い、少しずつではありますが、香月エレクト年度も動き始めています。

さて、本日は記念すべく「1600回」例会です。1990年9月29日の設立日が、第1回目の例会だと思います。それから35年の時間が経ち1600回目を迎えました。長い歴史の重さを感じております。来週16日の例会は、創立35周年式典懇親会を「ハーバーテラス SASEBO迎賓館」で開催致します。古賀委員長を始めとする、式典例会出席委員会、川上委員長始めとする、国際交流委員会の皆様が、一生懸命に準備を進めています。会員の皆様のご出席とご協力をお願い致します。

本日の1600回例会を記念して、私から気持ちばかりですが「紅白饅頭」を準備致しました。受け付けに置いていますのでお持ち帰り下さい。奥様と1600回の歴史を思い出しながら、食べて頂ければ嬉しいです。

昨日の報道によると、「地域ブランド総合研究所」「地域ブランド調査2025」市区町村魅力度ランクインとして、全国1000の市区町村の魅力度を調査し、そのランキングを10月4日に発表しています。ベスト50位の中に残念ながら佐世保市は入っていませ

んでした。50位の中に、長崎県で唯一28位に長崎市が入っていました。九州では、29位の別府市、21位の沖縄市、18位の宮古島市、15位の屋久島町、9位で九州最高の福岡市がランクインしていました。ベスト3位はと言うと、1位が函館市、2位が札幌市、3位が京都市という結果でした。ちなみに、都道府県ランキングは1位が北海道、最下位47位が埼玉県、長崎県は11位にランクインしています。この後、宮島大典市長から「佐世保市政」についての卓話があります。楽しみにしております。わが街佐世保を元気にしたいという想いは、一市民として同じ気持ちです。本日も最後まで宜しくお願い致します。



Report 幹事報告 / 馬渡 圭一君

1. 例会変更・休会

*ハウステンボス佐世保RC

日時 10月12日(日) 10:00~

場所 エコヴィレッジさいかい元気村

佐世保東RC合同芋掘りみかん狩り

バーベキュー家族例会為

2. 来信

ガバナー事務所

・地区大会についてのお願い

(^_~) ニコニコボックス

福岡西 RC 富永 雅也様

初めてメークアップさせていただきます。よろしくお願いいたします。

岡 光正会長・芥川 圭一郎副会長・馬渡 圭一幹事

本日はメークアップとして 福岡西RC富永雅也君にご来訪頂いております。お忙しい中でのご来訪、誠にありがとうございます。さて本日の例会は、佐世保中央RCの名誉会員でもあられます、佐世保市長 宮島大典様にお越し頂いております。市長御就任から丸2年、公務も昼夜を問わずお忙しい中お時間いただきありがとうございます。本日は、佐世保市の今後のビジョンや重点施策など、貴重なお話を頂けるかと思います。市長のお話を会員一同楽しみにしております。本日もよろしくお願いいたしま。

田代 博之君

同級生の富永雅也君の来訪を歓迎いたします。福岡からわざわざありがとうございます。

芥川 圭一郎君

昨日、映画を二本立てで鑑賞してきました。午前中は『チェンソーマン』を観て、昼食を挟んで、午後には『沈黙の艦隊』を鑑賞しました。さすがに二本続けては、少し疲れました。明日は、駅裏でクリテリウムが開催されます。ド迫力のレースが見れますよ。

本日の合計	36,000 円
本年度の累計	546,000 円



本日の卓話

佐世保市長 宮島 大典様

佐世保市の最大の課題：人口減少

・現状分析：市の人口がピーク時の28万4千人から現在22万7千人まで減少している厳しい現状が共有されました。特に20代の若者層の流出が顕著であり、新卒者の市内就職率が約3割に留まっている点が指摘されました。その背景には、若者にとって魅力的な雇用機会の不足や、全国水準と比較して低い賃金の問題があるとの分析が示されました。

・経済的豊かさの視点：一方で、可処分所得と生活費（非消費支出）のバランスから見た「経済的な豊かさ」という指標では、長崎県は全国で11位に位置しており、決して魅力がないわけではないと強調されました。この結果を踏まえ、佐世保市は単なる所得の多寡ではなく、「住みやすさ」や「ウェルビーリング（心身の幸福）」を市の強みとして追求し、ブランド価値を高めていくべきとの見解が述べられました。



シティプランディングプロジェクトと具体的施策

市の付加価値向上を目指す「シティプランディングプロジェクト」が紹介され、その中核をなす4つの柱と具体的な施策が説明されました。

・4つの柱：「子育て」「産業」「地域資源」「文化」をプロジェクトの柱として掲げ、選ばれるまちを目指す方針が示されました。

・具体的施策の要約：

- 子育て支援：中学校給食の無償化を2年生まで拡大。不妊治療を受ける市民に対し、市外の医療機関へ通うための交通費助成を開始。高校生世代までの医療費助成を、従来の償還払いから窓口負担がなくなる「現物給付化」へ移行。

- 産業振興：日米基地の共存共栄を基軸とし、特に艦船修理を中心とした防衛産業の経済効果を、サプライチェーン強化などを通じて最大限地元に還元するスキームの構築を目指す方針が示されました。

- 地域資源活用：九十九島を「日本を代表するアーカペラゴ（多島海）リゾート」として開発する計画が進行中（現在パートナー企業を選定中）。また、三浦地区にMICE機能を持つホテルを公募し、宿泊観光を強化する計画が発表されました。

- 広域連携：ハウステンボス及び西九州佐世保広域都市圏（12市町）と連携協定を締結し、広域での周遊観光を促進していくことが報告されました。

- 文化・若者支援：市内外の若者が佐世保について考え、提言するオンラインコミュニティ「させぼクロス」の活動が紹介されました。

- 記念事業とイベント：九十九島国立公園指定70周年記念事業、国民文化祭、そして翌日開催される「ツール・ド・九州」など、市の魅力を発信するイベントについても言及されました。

最重要課題：水道料金の改定について

9月議会で最大の懸案であった水道料金の改定について、その背景と内容が詳細に説明されました。

・改定の背景：水道事業は独立採算制ですが、全国的に施設の老朽化による更新費用の増大と、人口減少による料金収入の減少という構造的な課題に直面していることが説明されました。佐世保市においては、これに加えて以下の固有の課題があると指摘されました。

◦ 地形的要因：坂の多い地形のため、ポンプ所や配水池などの施設数が他都市より格段に多く、維持管理コストがかさむ。

◦ 水源不足：慢性的な水源不足から、市民に節水を促す「節水型」の経営を長年強いられてきた。その結果、使用水量を抑えざるを得ず、必要な費用を貯蓄するために料金単価を高く設定せざるを得なかつた。

◦ 改定幅抑制の努力：料金改定はやむを得ないものの、その幅を抑制するため、法定耐用年数を超えて施設を使用する「延命化」、過去20年間で71名の人員を削減した人件費の圧縮、そして石木ダム完成を前提とした将来的な施設の統廃合計画など、最大限の経営努力を継続してきたことが強調されました。

◦ 改定案と激変緩和措置：上記の努力をしてもなお27.5%の財源不足が生じるため、料金改定は不可避で

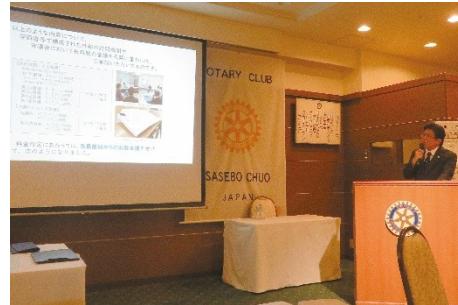
あると説明。しかし、急激な負担増が市民生活に与える影響を考慮し、市長部局の判断で段階的な値上げ（激変緩和措置）を決定したことが報告されました。一般会計からの補填により、初年度は値上げ幅を10%分、次年度は5%分圧縮する措置が取られます。これにより、一般家庭での影響額は、当初は月額260円の増加、3年目以降は月額408円の増加となるとの見込みが示されました。



S A A : 筒井 琢磨

結論とお願い

- ・官民連携の重要性：佐世保市が持つ多くのポテンシャルを最大限に活かし、素晴らしいまちづくりを実現するためには、行政の力だけでは不十分であり、民間との連携が不可欠であると強く訴えられました。
 - ・ロータリークラブへの期待：最後に、佐世保市の発展のため、佐世保中央ロータリークラブの会員に対し、引き続きの指導と支援を賜りたいと要請があり、卓話は締めくくられました。



memo